

令和5年3月31日

研究開発完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 神戸市中央区下山手通 5-10-1
管理機関名 兵庫県教育委員会
代表者名 教育長 藤原 俊平

令和4年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発完了報告書を、下記により提出します。

記

1 事業の実施期間

令和4年4月12日（契約締結日）～ 令和5年3月31日

2 指定校名・類型

学校名 兵庫県立村岡高等学校

学校長名 牧野 徹

類型 地域魅力化型

3 研究開発名 ちいき大好きプロジェクト～郷土愛を育む「村岡メソッド」の開発～

4 研究開発概要

地域活性の核として、高校の拠点機能を強化し、地域における「人づくりネットワーク」の構築を図る。その上で、地域課題の解決等に資する学習を官民学協働で体系的に実施し、生徒の郷土愛を育み、「地域を育てる学力」を形成する。また、本事業の評価及び卒業生の就職状況調査を分析し、その取組の具体的な検証と評価方法を開発する。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用の有無

- ・学校設定教科・科目 開設している ・ 開設していない
- ・教育課程の特例の活用 活用している ・ 活用していない

6 運営指導委員会の体制

氏名	所属・職	備考
岩切玄太郎	兵庫県企画部総合企画局計画課長	関係行政機関
新谷 浩一	兵庫県教育委員会高校教育課長	関係行政機関
今井 雄治	香美町副町長	関係行政機関
川戸 英明	香美町企画課長	関係行政機関
清水 幸信	香美町教育委員会教育総務課長	関係行政機関
山根 俊喜	鳥取大学副学長	学識経験者
横山 真弓	兵庫県立大学教授	学識経験者
西村 功	香美町民生委員・児童委員協議会長	地域住民
入江 善博	株式会社入江産業代表取締役	地域住民

7 高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制

機関名	機関の代表者
兵庫県教育委員会高校教育課	課長 新谷 浩一
香美町教育委員会教育総務課	副課長 山田 貴広
香美町企画課	副課長 今西 勝彦
兵庫県立村岡高等学校	校長 牧野 徹
兵庫県立村岡高等学校同窓会	前会長 西村 芳和
鳥取大学地域学部	教授 筒井 一伸
NPO法人TUKULU	代表 松岡 大悟
うづかの森（民間企業）	代表 西村 昌樹
やまもり村岡（民間団体）	代表 上田 治

8 カリキュラム開発専門家、地域協働学習支援員

分類	氏名	所属・職	雇用形態
カリキュラム開発専門家	筒井 一伸	鳥取大学地域学部教授	都度依頼・謝金支払い
地域協働学習支援員	高橋 大蔵	香美町地域おこし協力隊	香美町企画課 会計年度任用職員

9 管理機関の取組・支援実績

(1) 実施日程

業務項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営指導委員会 コンソーシアム会議	組織		開催				開催					開催
カリキュラム開発専 門家							研修					研修
地域共同学習支援員	本校担当として常勤で支援											

(2) 実績の説明

活動日程	活動内容
令和4年4月12日	運営指導委員会、コンソーシアムを組織
令和4年6月30日	第1回会議 ・事業方針の説明、今後の事業内容に対する指導助言 ・会議日程について協議
令和4年10月8日	・「総合的な探究の時間、地域探求発表会」を見学 第2回会議（アンケート形式） ・発表枚葉や生徒取組についてのアンケートによる指導助言 ・村高フォーラム2022での基調講演「ソーシャルマーケティングとしての地域探求」とパネルディスカッション「地域と学校／学びが地域を創る」を参観
令和5年3月7日	・「総合的な探究の時間発表会」を見学（オンライン形式） 第3回会議 ・今年度の取組について成果・評価・課題の総括及び指導助言 ・指定終了後の取組について概要説明、協力体制についての打合せ

- ・運営指導委員会及びコンソーシアム会議に担当指導主事を派遣し、大学・企業・関係機関等の専門家と事業運営に関して意見交換をするとともに、事業評価を踏まえた指導や助言を行った。
- ・探究活動の成果発表会に担当指導主事を派遣し、探究活動に関する指導や助言を行った。
- ・国費に加え、県事業「県立高校特色づくり推進事業（インスパイア・ハイスクール）」での追加予算を行い、事業の充実を財政面で支援した。
- ・研究終了後は、学校の特色づくりや取組継続に関する指導や助言を行うとともに、県事業に位置づけた一定の財政支援を行う予定である。

10 研究開発の実績

(1) 実施日程

業務項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校設定科目 地域創造系の探究活動	▶											
学校設定科目 アウトドアスポーツ系の探究活動	▶											
総合的な探究の時間 「村高発地域元気化プロジェクト」	▶											

(2) 実績の説明

① 研究開発の内容や地域課題研究の内容について

ア 地域創造系の探究活動

「自然や暮らし（地域資源）を活かした観光・レクリエーション産業の活性化」、
「安心して暮らせるまちづくり」をテーマに、香美町の実情を把握し、高校生の視点で新たな価値観を見いだし、課題解決する学びを通して「地域を育てる学力」を系

統的に高めることを目的に活動した。

《地域学入門（1学年）テーマ「地域を知る」》

- ・オリエンテーション、導入 4月
- ・但馬の植生調査（講義、調査）地元講師 菅村 定昌 氏 6、7月
- ・水生昆虫調査（講義、実習）地元講師 西田 昭夫 氏 7、8月
- ・但馬の地質調査（講義、実習）地元講師 三木 武夫 氏 8月
- ・海洋生物、地層調査（講義、スノーケリング、シーカヤック実習）
地元講師 本庄 四郎 氏 8月
- ・獣被害について（講義）兵庫県立大学 教授 横山 真弓 氏 8月
- ・村岡の歴史調査（講義、実習）地元講師 石松 崇 氏 10、11月
- ・「地域探求・総合的な探究の時間発表会」
プレゼンテーション、ポスターセッションに向けた原稿作成・ポスター作成、
発表準備 10月
- ・地域を知る（講義、プレゼンテーション）
「八幡山公園の散策および石像物を通した歴史・文化の学習」
鳥取大学地域学部講師 アレクサンダー・ギンナン 氏 12～3月
- ・コミュニケーションワークショップ
芸術文化観光専門職大学専任講師 田上 豊 氏 7、12月
- ・ビジョン出前講座「ひょうごビジョン2050について」
但馬県民局地域政策室協働推進課（ビジョン担当）班長 濱名 良輔 氏 11月

《地域探求Ⅰ（2学年）テーマ「地域を深める」》

- ・オリエンテーション 4月
- ・聞き取り調査「ふるさと給食」（講義、グループ討論）
香美町教育委員会教育総務課主幹 山根 孝枝 氏 5月
- ・テーマ「食とつなぐ人と地域」
鳥取大学地域学部 准教授 石山 雄貴 氏
- ・長野県阿智村で2泊3日の研修を実施 7月
阿智村概要、駒場まち歩き、五平餅づくり、地域の若者と交流、星空のまち概要、
鳥獣害対策・6次産業化・高原トウモロコシ畑見学、ごか食堂の取り組み、堆肥
センター・産業振興公社現地研修、調査研究プレゼンテーション、満蒙開拓平和
記念館見学
- ・「地域探求・総合的な探究の時間発表会」
プレゼンテーション、ポスターセッションに向けた原稿作成・ポスター作成
発表準備 10月
- ・グループ討議、プレゼンテーション等による今後の探求内容の協議 12～3月
- ・コミュニケーションワークショップ
芸術文化観光専門職大学専任講師 いしい みちこ 氏 12月

《地域探求Ⅱ（3学年）テーマ「地域を創る」》

- a テーマ「ひと・もの・こと」魅力発信大作戦
鳥取大学地域学部准教授 白石秀壽 氏
- ・4班に分かれてプラン作成（ワークショップ）、プレゼンテーション、協議
5～7月
- ・班別活動（現地調査、モニタリング調査、動画撮影等）
現地調査協力：吉滝キャンプ場経営 西村 太一 氏、
香美町商工会事務局長 田畑 善延 氏、株式会社奥但馬社員 今井 志朗 氏、

スミノヤゲストハウス経営 田尻 茜 氏 8～2月

- ・「地域探求・総合的な探究の時間発表会」
プレゼンテーション、ポスターセッションに向けた原稿作成・ポスター作成
発表準備 10月
- b 卒業論文「私の地域活性化プラン」
原稿作成、校正（担当教員による指導）7～1月

《地域創造系全体の取組》

- a 地域創造系夏季調査実習（総合的な探究の時間とリンク）
集落の魅力発信プロジェクト「むらの風景 vol. 5」におけるインタビュー調査
（協力アドバイザー）
カリキュラム開発専門家：鳥取大学地域学部教授 筒井 一伸 氏 8～9月
- b 地域探求講演会（町長講演会）
香美町の代表者による現状と課題に関する講演
グループ討議「若者のU・Iターンを増加させるために必要な施策を考える」
講師 香美町長 浜上 勇人 氏 7月
助言者 鳥取大学地域学部教授 塩沢 健一 氏
- c コミュニケーションワークショップ
芸術文化観光専門職大学専任講師 平田 知之 氏 7月
- d 神戸市立葺合高等学校生徒との意見交換会 12月

イ アウトドアスポーツ系の探究活動

「自然や暮らし（地域資源）を活かした観光・レクリエーション産業の活性化」を目指し、地域固有のレクリエーション資源（自然）を学び、アウトドアスポーツの魅力が伝えられるリーダー育成に必要な知識・技術を身に付けるとともに、アウトドアスポーツイベントの運営に必要な知識・手法を学び、香美町教育委員会・民間企業等と連携した企画を立案、実施するなど、より実践的な学びを行った。

《地域学入門（1学年）》

- テーマ「地域資源を活かしたアウトドアスポーツ体験」「スポーツ基礎理論と実践」
- a オリエンテーション（「私のお勧めのアウトドアスポーツ」をテーマにしたプレゼンテーション、レポートの作成方法等）4月
 - b 地域の自然を知る（美方高原自然の家「とちのき村」職員による指導）
 - ・デイキャンプ 講師 小林 祐二 氏 4月
 - ・チャレンジラペリング 講師 西垣 幸造 氏 11月
 - c スポーツ理論（履正社国際医療スポーツ専門学校教員による指導）
 - ・鍼灸師 講師 藤 仁 氏 6月
 - ・インストラクター 講師 大江 信一郎 氏 6月
 - ・柔道整復師／理学療法士 講師 田中 雅博 氏／川瀬 和大 氏 6月
 - ・栄養学 講師 下村 有佳里 氏 10月
 - ・スポーツトレーナー 講師 南 遥夏 氏 11月
 - d 探究テーマ検討
ビジネス手法を取り入れた地域活性につながるイベント企画について
 - ・スポーツツーリズムの推進
講師 香美町教育委員会生涯学習課 田中 利彦 氏 1月
 - ・オリエンテーリング概論
講師 香美町教育委員会生涯学習課 田中 利彦 氏 2月
 - ・自然環境とスポーツ活動について 講師 鳥取大学准教授 関 耕二 氏 3月

《地域スポーツⅠ（2学年）》

テーマ「健康づくりと地域活性（介護予防体操による身体機能改善）」

- a 元気体操普及活動
 - ・リハーサル 5月
 - ・村高元気体操講習会の実施
東上公民館、忠宮集会所、兎塚公民館（いずれも地区の高齢者対象）
香住文化会館大会議室（地域指導者対象）6、7月
- b 元気体操創作活動 元気体操～南中ソーラン編立位バージョンの創作～
 - ・香美町福祉課より改良点を指摘していただき、内容のブラッシュアップを図る
講師 鳥取大学准教授 関 耕二氏、香美町福祉課 山本美樹氏 1～3月
- c 地域ケア研究会実践報告発表
 - ・但馬圏域の保健・医療・福祉等の地域ケア関係者が会する場での意見交換 2月
- d 「地域探求・総合的な探究の時間発表会」
プレゼンテーションやポスターセッションに向けた原稿作成・ポスター作成、
発表準備 10月

《地域スポーツⅡ（3学年）》

テーマ「オリエンテーリングの普及及び教育的効果」

- a オリエンテーリング普及活動
 - ・1年生対象の体験会実施 講師 鳥取大学准教授 関 耕二氏 6月
 - ・村岡区中央公民館「土曜チャレンジ学習」参加の小学生対象に体験会実施
講師 香美町教育委員会 田中 和彦氏・村岡区公民館 邊見 穰氏 8月
 - ・「村高フォーラム」にて体験会実施 10月
- b オリエンテーリング大会に競技者として参加
 - ・みかた残酷マラソン前日のオリエンテーリング大会 6月
- c 「地域探求・総合的な探究の時間発表会」
プレゼンテーション、ポスターセッションに向けた原稿作成・ポスター作成、
発表準備 9～10月
- d 報告書作成 12～2月

ウ アウトドアスポーツ系全体の取組（総合スポーツ学）

- a 冒険教育 テーマ「地域の自然を活かしたスポーツインストラクター資格取得」
 - ・ツリーイング、キャンプ、レクリエーション、クライミング、ラペリング等の
体験、指導実習 5～11月
地元講師 美方高原自然の家「とちのき村」西垣 幸造氏 森井 勇希氏他
- b 地域スポーツ テーマ「地域の自然環境を活かしたスポーツの技術習得」
 - ・ゴルフ、スキー、スノーボード、スノーシュー、クロスカントリースキー
地元講師 井上 直樹氏他 5～2月
- c 「地域探求・総合的な探究の時間発表会」
プレゼンテーション、ポスターセッションに向けた原稿作成・ポスター作成、
発表準備 10月
- d 土曜チャレンジ学習事業（香美町教育委員会事業）
シャワークライミング、オリエンテーリング、ボルダリング指導補助 7～12月

エ 総合的な探究の時間「村高発地域元気化プロジェクト」の探究活動

生徒同志が議論して改善・充実を図っていきけるよう、学年を越えた全校生徒を、興味・関心にもとづいて5班8グループに分け、「自然と暮らし（地域資源）を活かし

た観光・レクリエーション産業の活性化」「安心して暮らせるまちづくり」をテーマとして、班毎に課題解決に向けた地域協働活動に取り組んだ。

- a 民芸班：地域の方々と一緒に踊れる「南中ソーラン」の開発を行うことでさらなる地域の活性化を目指す。
- b 吹奏楽班：音楽を通して地域との交流を深め、地域になくはない吹奏楽団、演奏者と聞いている方双方が楽しめる演奏を目指す。
- c 食文化班：地域の方との交流を通じて食文化や伝統料理を知り、高校生目線で地域食材を活用したレシピを考案し、情報発信することにより地域活性化に繋げる。
- d 環境A班：「うへ山棚田」の保全を通して、おいしいお米を生産できる土壌を探ることにより、棚田の価値と地域経済の向上に繋げる。
- e 環境B班：森の健康診断（人工林の混み具合調査）をもちに伐採した間伐材を利用した木の駅プロジェクト等に取り組むことにより、地域内に経済効果を生むことを目指す。
- f 地域福祉班：高齢化、子育て支援についての調査として、今年度は買い物調査（困りごと調査）を追加し、世代を超えた交流を目指す。
- g 紙漉き班：自らが紙漉きを体験しその技術を高め、地域を巻き込み新たな交流を生み出すことを目的とする。地元の小学生との紙漉き体験企画を通じて、紙漉き技術を次世代へと繋げる。
- h 集落調査班：小規模集落の魅力を高校生目線で発見する調査を実施することで、課題発見・解決能力を培わせるとともに、より良く伝えるために必要な力を涵養することを目的とする。

② 地域との協働による探究的な学びを実現する学習内容の教育課程内における位置付け

・地域創造系	学校設定教科	地域探求
	学校設定科目	地域学入門（1年） 地域探求Ⅰ（2年） 地域探求Ⅱ（3年）
・アウトドアスポーツ系	学校設定教科	地域探求
	学校設定科目	地域学入門（1年）地域スポーツⅠ（2年） 地域スポーツⅡ（3年）
	学校設定教科	総合スポーツ学（2、3年）
	学校設定科目	冒険教育 生涯スポーツ スポーツ実践
・学年共通	学校設定教科	協働のまちづくり（1年）
		総合的な探究の時間（2、3年）

③ 地域との協働による探究的な学びを取り入れた各科目等における学習を相互に関連させ、教科等横断的な学習とする取組について

ア 協働のまちづくり（1年） 総合的な探究の時間（2、3年） 各1単位

名称「村高発★地域元気化プロジェクト」 全校生

- ・学校設定教科「地域探求」での地域との協働による探究的な学びと「総合的な探究の時間」（村高発★地域元気化プロジェクト）を密接に連携させ教科横断的に展開した。
- ・地域課題の解決に向けた探究活動を効果的に進めていくために、各教科で学習する知識を身に付け、活用することで、教科の学びを単独ではなく、相互に関連付けた。
- ・各教科や学校設定教科「地域探求」の活動を「総合的な探究の時間」（村高発★地域元気化プロジェクト）と横断的に実施することにより、探究活動を多面的に捉え、分析する学びに発展させた。

- イ 学校設定教科「表現」 学校設定科目「スピーチ」（3年選択）2単位
- ・Society5.0、人生100年時代における、地域と自分の姿を想定することにより、地域の未来を創造し、キャリアプランニングについて考えさせた。
 - ・高校生が生涯をとおして、主体的に生涯の生活を設定し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を考えると共に、自分の考えを表現させた。

④ 類型毎の趣旨に応じた取組について

ア 地域住民への広報

- ・「地域探求・総合的な探究の時間発表会」でのプレゼンテーション、ポスターセッション
- ・土曜チャレンジ学習事業でのオリエンテーリング、クライミング、ボルダリング等の普及

イ 他校生徒、地域住民、学識経験者等との交流、地域の魅力を再認識、資質向上

- ・「村高フォーラム2022」
学識経験者による講演会、及び『「地域づくり×人づくり」～若者と地域を創る～』をテーマにした生徒・地域住民、学識経験者等とのパネルスカッション
- ・「地域探求講演会」
町長講演「香美町のまちづくり」、町長と生徒による協議「若者のU・Iターンを増加させるために必要な施策を考える」、鳥取大学准教授による指導助言等
- ・地元資源を活用した地域活性化について考える宿泊研修（長野県阿智村）
- ・「HYOGO×WKCフォーラム 高校生SDGs探究発表会」へのポスターセッション参加

ウ その他

- ・「ヒーローインタビュー」（卒業生インタビュー）
村岡高校の教育活動や事業協力に関する卒業生との意見交換

⑤ 成果の普及方法・実績について

- ・地域創造系1～3年生、及び総合的な探究の時間「集落調査班」による成果物「集落の魅力発信プロジェクト『むらの風景 vol. 5』」の作成
- ・地域創造系3年生による地域探求Ⅱでの成果物「唐三の魅力に迫る」DVDの作成
- ・卒業論文「私の地域活性化プラン」の作成、地域（香美町）への提言・発信
- ・鳥取大学地域学部と共編した発行物「学びが地域を創る ふつうの普通科高校の地域協働物語」の作成

1.1 目標の進捗状況、成果、評価

(1) 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）

- ・地域をよくするために、地域における問題にかかわりたいと思う生徒の割合
3年目目標値 80% 3年目実績 76.1%
- ・高校卒業後、いずれは地元で働きたいと希望する生徒の割合
3年目目標値 70% 3年目実績 60.7%
- ・高校卒業後、地元で貢献したいと思う生徒の割合
3年目目標値 80% 3年目実績 82.9%

(2) 地域人材を育成する高校としての活動指標（アウトプット）

- ・外部講師（大学教授、地元企業、地域住民等研究者）による授業回数、研修回数
3年目目標値 80回 3年目実績 126回
- ・地域課題について研究の取り組みを発表する機会

- 3年目目標値 10回 3年目実績 10回
- (3) 地域人材を育成する地域としての活動指標 (アウトプット)
- ・コンソーシアムの構成団体数 3年目目標値 10団体 3年目実績 10団体

<添付資料>目標設定シート

1 2 次年度以降の課題及び改善点

(1) 課題

- ・官民学が協働して取組ができる組織づくりを目指して、卒業生（地域の若者）との協働など新たな取組も進めているが、本事業終了後の自走のためには、官民学協働のネットワークづくりのさらなる促進が不可欠である。
- ・地域（香美町）に対する指定校の認知度は高いが、中学生や保護者に対する指定校の取組や地域協働活動の意義についての理解度が高いとは言えず、引き続き、中学生や保護者に対して魅力を伝え、理解を図る必要がある。
- ・少子化が加速し生徒募集の難しい状況が続いているので、村岡高校の取組の成果や生徒の成長について、地域や保護者等への効果的な広報や幼小中学生との活動を効果的に行なう必要がある。

(2) 改善点

- ・構築したコンソーシアム体制については、学校が従前から設置している学校運営連携協議会を活用し、体制を変えて継続する予定である。また、学校設定科目「地域探究」等でのコンソーシアム委員と協働した教育活動は引き続き推進する。
- ・官民学のネットワークづくりの具体化については、香美町や有識者と検討を継続する。
- ・地元の中学校をはじめとする教育機関に対しては、スクール・ミッション、スクール・ポリシーを示すとともに、本事業の成果による学校の魅力や特色を積極的に発信したりすることで、教育活動への理解を図る。

【担当者】

担当課	兵庫県教育委員会事務局 高校教育課	TEL	078-362-3817
氏名	中村由利	FAX	078-362-4288
職名	主任指導主事	e-mail	Yuri_Nakamura01@pref.hyogo.lg.jp